

会 議 録

会 議 名	山陽小野田市図書館協議会		
開催日時	平成26年2月12日（水）午前10時から12時		
開催場所	山陽小野田市立中央図書館 第1会議室		
出席者	神徳良信委員、江中幸夫委員、川上富士子委員、石原さやか委員、鈴木康一委員、萬代聡子委員、中村明美委員、山本桂子委員、植田眞理子委員、香川真澄委員		
欠席者	なし	委員数	10人
		出席者数	10人
		欠席者数	0人
事務担当課 及び職員	江澤正思教育長 中央図書館 山本館長、板垣副館長、村岡主査、銭谷主任、 光永主任主事 厚狭図書館 山根館長、綿貫主査		8人
会議次第	1 辞令交付 2 教育長あいさつ 3 委員紹介、職員紹介 4 正副会長の選出 議事 5 平成25年度事業報告について 6 報告（1）子ども読書活動推進計画（第二次計画）の策定について （2）新厚狭図書館の建設について 7 その他		
会議結果	○事務局より、山陽小野田市図書館協議会規則第3条第2項の規定により図書館協議会の会議の成立を報告。 ○会長、副会長の選出 委員の互選により、会長に山本桂子委員、副会長に中村明美委員を選任。 ○議事 平成25年度事業報告について 事務局から、平成25年度中央図書館の事業経過について報告。 質疑事項 委員長：学校への出前図書館の利用率について。 事務局：職員が紹介した本に興味を持つ。約1ヶ月間貸出。読み聞かせもしている。 委員長：英語でおはなし会の対象者について。 事務局：小学生や幼児も興味を持って参加していた。ネイティブな発音に触れられる。県立図書館では、中東・アジアの人などの参加もあった。		

事務局から、平成25年度厚狭図書館の事業経過について報告。

委員：南中川駅で中身のないCDケースを見つけたが、こういった場合、どのようにしたらよいか。

事務局：貸出中だった場合、利用者に連絡を取って事情を聞くなど、その次の処理ができるので、中央図書館でも厚狭図書館でもいいので届け出て欲しい。

委員：借りた本を紛失の場合はどのようにするのか。

事務局：同じ本を弁償してもらおう。手に入らなければ、同程度ものを弁償してもらおう。児童書については、ケースバイケース。

委員：厚狭図書館学級には、俳句学級、古文書解読学級があるがバックアップが良い。地域の地の拠点として役立っており、感謝している。

委員：当市図書館は予算は少ないが行事が多く一所懸命やっているし、小中学校には学校司書がいる。対応も良い。また、公民館のブックポストに返却できるのは、助かる。

事務局：本も雑誌も寄贈に頼っている。予算が増えて、自立したいと思っている。

委員：本の寄贈は、しても良いのか。

事務局：新しくて用済みの本を歓迎する。

委員：古い本でも大事に保管してあるものは。

事務局：図書館フェスティバルのリサイクルブックで活用したい。いずれにしても図書館に扱いを一任してもらおう。

委員：利用者の利用の仕方が気になる。子どもたちがゲームをしている。ティーンズコーナーが3・4年前に児童コーナーにきてから、小さい子どもが使いにくくなっている。また、絵本の並びが絵作者順になっているのが、使いづらい。題名順が良い。図書館の意図が知りたい。読みあいと読み聞かせについての説明を。

事務局：ゲームをする子どもには長い目で声かけをしたい。ティーンズコーナーについては、自分は子どもではないと思っているので児童コーナーから離れたところが良いと考える。絵本を題名順にならべることは、メリットデメリットがある。タイトルで並んだ場合、どこからタイトルをとるか難しい。同絵作者の他の本が読みたいと思っても出会いがなくなる。読みあいについては、村中李衣さんの造語で読み聞かせという言葉を使っている。1対1で相手を思いながら読む。相互的なもの。読み聞かせは、全国的で文部科学省も使っているが、一方的で上から下へ行くようなニュアンスで嫌っている人もいる。それで、読み語りという人もいる。

委員：滞在していたヨーロッパ、スペイン・イタリアの図書館は日本の図書館と形が違い、入館するだけでも大変。貸出・返却より、

資料の集積に重きを置いている。日本の図書館は素晴らしい。山陽小野田市の図書館がしているこちらから出向いていく出前図書館のような取り組みに驚いている。このようなことを下関市の図書館へ提言したことがある。それ以外でも図書館がしたこと、配慮は自分の見る限り、完璧だと思う。和歌、短歌、俳句でもいいが、学級を図書館でできれば素晴らしいと思う。言葉に対する裾野を広げる。言語の文化に触れられる。一般の人にも来易くなる。メディアも使って紹介したら良い。

○(1) 子ども読書活動推進計画(第二次計画)の策定について

委員：全校一斉読書運動、音読の採用・実践について

事務局：学校の行事である。朝の読書として、小学校では、100パーセント達成している。

委員：小中学校で朝の読書に取り組んでいる。小中学校司書教諭、学校図書支援員が協力している。貸出一覧表を貼り付けるなどしている。中学校も多読である。支援員について、中央・厚狭図書館を利用したいので、外部との関わりが重要になってくる。研修を今後ともよろしくお願ひしたい。図書の予算が少ない。文化的芸術的なものに対する投資が本市では少ないように思える。要求を増やしていきたい。読書など小さいところからの習慣づけが大事。図書館と協力していきたい。

(2) 新厚狭図書館の建設について

委員：一般室と児童室はワンフロアか。お互いが使いづらくないように仕切りのようなものはあるのか。

事務局：ワンフロアだが、一般室と児童室の区別はつくようにしてある。読み聞かせスペースもある。

委員長：地元ワークショップをするのだったら図書館協議会というものがあるのだから、図書館協議会にも一言、声をかけてくれれば良かった。残念に思った。

事務局：当初、市長部局企画課が案を練っていて、地元で利用している方ということで図書館友の会の方を聞かれた。申し訳なかった。

委員：小学校の学級文庫を子どもたちがとても楽しみにしている。ありがたいと思っている。村中先生、外部の先生との読みあいの研修会では、中央・厚狭・県立図書館から本を取り寄せてもらった。中央図書館・厚狭図書館・学校の連携が良くできている。

また、システムの不具合のおかげで新しいシステムとなり、小中学校の図書室がようやく繋がり、良い方向にいつている。

委員：大学の図書館は、中央図書館と連携済みで、開かれている。専門書が多く、一般の人には、国家資格を取りたい人が多く来られる。

中・高校生は、保護者同伴で20時まで利用できる。
3・4年生のピアサポーターが質問を受付けているので、夏休みの宿題などに利用されても良い。

委員：関連事業にデイジーの会を付け加えてください。
デイジーの会で副読本の作成をしている。県立でもやっていない。
スズランの会の例会のときに午後には、視覚障がい者も図書館を身近に感じてもらうため来てもらっている。短歌をつくられる方がいて、その方のための短歌の指導者を探している。
短歌の教室を図書館でもらえるその方も出やすくなる。

○その他

委員：3月16日 講演会 「私のステップは車いすダンスで」があります。

以上